

神緑会

Shinryokukai News Letter

一般社団法人 神緑会会報誌
神戸大学医学部医学科同窓会

第13巻 第2号

発行日 2021年11月30日



Sicily San Domenico Palace Hotel

Contents

神戸大学創立120周年記念募金への協力のご ご挨拶	3 4	特別講演Ⅱ	12
令和3年6月26日一般社団法人神緑会 定時社員総会報告 総会	6 6	令和3年度 田中千賀子学術奨励賞	14
令和3年度 一般社団法人神緑会 田中千賀子学術奨励賞授与者	7	令和3年度 一般社団法人神緑会 助成事業授与者	16
令和3年度 一般社団法人神緑会 助成事業	7	神緑会員リレー随筆④	18
新任教授並びに栄誉者一覧	8	信長に反旗を翻した男達	20
神戸大学楠キャンパス福利厚生施設整備運営事業について	9	明治2年神戸病院建設を起点とした歴史探訪の最後として	23
特別講演Ⅰ	11	祖父 長澤 巨を偲んで	27
		CiRA便り	28
		編集後記	30

木と生きる幸福

住友林業グループ

住友林業のシニアレジデンス

スマリンケアライフは、住友林業グループの一員としてより質の高いサービスをより多くの皆様にご提供し、「安心・安全・快適」な暮らしをサポートしています。



緑豊かな街並みと交通至便な、神戸市垂水区に立地。

2019年4月撮影 / 土地建物: 自社所有



DOMANI ドマーニ 神戸

(一般型特定施設入居者生活介護 / 入居時自立・要支援・要介護)

フリーコール 0120-78-6665 (9:00~17:00)

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示】●類型 / 介護付有料老人ホーム (一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態 / 利用権方式 ●利用料の支払い方式 / 一部前払い・一部月払い方式 (一般居室)・選択方式 (介護居室) ●入居時の要件 / 入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険 / 兵庫県指定介護保険特定施設 兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分 / 全室個室 ●介護にかかわる職員体制 / 1.5:1以上
【施設概要】●所在地 / 神戸市垂水区本多町3丁目1番37号 ●交通 / JR「舞子」駅より徒歩15分「舞子高校前」下車 徒歩5分 (約340m)、市営地下鉄「学園都市」駅より徒歩8分、「舞子高校前」下車 徒歩2分 (約130m) ●構造規模 / 鉄骨 (一部) 鉄筋コンクリート造 地上7階・地下1階の1棟、鉄筋コンクリート造 地上10階の1棟 ●居室数 / 一般居室195戸、介護居室58室 ●土地建物の権利形態 / 土地・建物とも自社所有



神戸の中心“三宮”に近く利便性に優れた神戸市灘区「HAT神戸」に立地。

2002年12月撮影 / 土地建物: 自社所有



ELEGANO エレガノ 摩耶

(一般型特定施設入居者生活介護 / 入居時自立・要支援・要介護)

フリーコール 0120-01-4165 (9:00~17:00)

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示】●類型 / 介護付有料老人ホーム (一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態 / 利用権方式 ●利用料の支払い方式 / 一部前払い・一部月払い方式 (一般居室)・選択方式 (介護居室) ●入居時の要件 / 入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険 / 兵庫県指定介護保険特定施設 兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分 / 全室個室 ●介護にかかわる職員体制 / 1.5:1以上
【施設概要】●所在地 / 神戸市灘区摩耶海岸通1丁目3番10号 ●交通 / JR「灘」駅より徒歩13分 (約1km)、阪神本線「岩屋」駅より徒歩10分 (約800m) ●構造・規模 / 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上14階建 (ケアセンター東館5階) ●居室数 / 一般居室134戸・介護居室96室 ●土地建物の権利形態 / 土地・建物とも自社所有



六甲の山並みを望む住みよい街。神戸市東灘区に立地。

2021年3月撮影 / 建物: 自社所有 土地: 普通借地



ELEGANO エレガノ 甲南

(一般型特定施設入居者生活介護 / 入居時自立・要支援・要介護)

フリーコール 0120-65-8208 (9:00~17:00)

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示】●類型 / 介護付有料老人ホーム (一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態 / 利用権方式 ●利用料の支払い方式 / 一部前払い・一部月払い方式 (一般居室)・選択方式 (介護居室) ●入居時の要件 / 入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険 / 兵庫県指定介護保険特定施設 兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分 / 全室個室 ●介護にかかわる職員体制 / 1.5:1以上
【施設概要】●所在地 / 神戸市東灘区本山南町3丁目3番1号 ●交通 / 阪急神戸線「岡本」駅より徒歩15分 (約1,180m)、JR神戸線「摂津本山」駅より徒歩12分 (約930m)、阪神本線「青木」駅より徒歩9分 (約700m) ●構造・規模 / 鉄筋コンクリート造 地上14階建 (ケアセンター) 地上6階 ●居室数 / 一般居室105戸・介護居室101室 ●土地建物の権利形態 / 土地は普通借地、建物は自社所有



関西住みたい街No.1^{*1}の西宮北口が生活圈。

2020年4月撮影 / 建物: 自社所有 土地: 普通借地



ELEGANO エレガノ 西宮

(入居時自立・要支援・要介護)

フリーコール 0800-100-2438 (9:00~17:00) にのみや

【厚生労働省「有料老人ホーム設置運営標準指導指針による表示」】●類型 / 住宅型有料老人ホーム (サービス付き高齢者向け住宅) ●居住の権利形態 / 利用権方式 ●利用料の支払い方式 / 一部前払い・一部月払い方式 (一般居室)・選択方式 (介護居室) ●入居時の要件 / 入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険 / 在宅サービス利用可 ●介護保険 / 在宅サービス利用可 ●介護居室区分 / 全室個室
【施設概要】●所在地 / 西宮市津門大塚町11番58号 ●交通 / 阪急今津線「阪神国道」駅より徒歩4分 (約320m)、JR神戸線「西宮」駅から徒歩11分 (約880m)、阪急神戸線「西宮北口」駅より徒歩16分 (約1,280m) ●構造概要 / 鉄筋コンクリート造 地上14階建 2棟、5階建1棟 ●居室数 / 一般居室219戸、介護居室90戸 ●土地建物の権利形態 / 土地は普通借地、建物は自社所有 ※1.不動産・住宅サイトSUUMO (スモモ) 「関西住みたい街ランキング2021」より

■お問い合わせ・資料請求等は、各フリーコールをご利用ください。

【経営・運営主体】(公社) 全国有料老人ホーム協会会員・(一社) 全国介護付きホーム協会会員

住友林業(株) 66.7%出資

スマリンケアライフ株式会社

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 (国際健康開発センター3階)

TEL.(078)261-6665 FAX.(078)261-6662

【ホームページ】

<https://www.s-carelife.co.jp>



神戸大学創立120周年記念募金への協力をお願い

神緑会会長 山崎峰夫

昨年2月に始まったコロナ禍との闘いは、今に至るまで思いもかけず長期にわたっており、神緑会会員の皆様におかれましては厳しい毎日をお過ごしのことと拝察するとともにお見舞いを申し上げます。

さて、2019年の神戸大学医学部75周年ならびに神戸大学医学部附属病院150周年を記念した募金事業に対しては多くの先生方ご賛同いただきました。ここにあらためてお礼申し上げます。

そのご協力から2年しか経ておらずしかも難しい社会情勢の中、いささか心苦しいところではありますが、表記の神戸大学創立120周年記念募金に対し新たにご協力をお願いいたく、ご案内申し上げます。

神戸大学の教育と研究の伝統は1902（明治35）年の神戸高等商業学校設置が起源とされ、来年120周年を迎えることからそれを記念して神戸大学本部では2019年度より大学の研究開発と人材育成機能の充実を目的として神戸大学基金へのご寄付を募ってきていました。

そして2021年4月に神緑会正会員として初めて藤澤正人先生（昭和59年卒）が学長に就任されました。藤澤学長が率いる新体制のもとで、神戸大学全体の研究・教育・社会貢献機能をさらに充実させ発展させること、しかもその中で医学研究科・医学部附属病院が主要な役割を果たすことができるものと期待されるところです。そのためにも、学長の出身母体の同窓会会員が率先して神戸大学の公式周年行事である今回の記念募金事業に協力することが必要と考えております。

120周年記念募金は医学研究科・医学部附属病院に直接関係ないのではないかとのお考えがあるかも知れません。しかし、国立大学医学部の運営や研究資金に関する環境は年々厳しくなっているという状況を想起すれば、その規模において今やわが国でも有数の総合大学の一つである神戸大学全体の発展とともに、医学研究・教育そして臨床機能のより幅広い展開への道筋をつけたいと願っております。

先生方におかれましては趣旨をご理解の上、ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

ご挨拶



一般社団法人神緑会 会長 **山崎 峰夫** (昭和56年卒)

このたび、本年6月26日に開催された定時総会において神緑会会長を務めることとなりました昭和56年卒業の山崎峰夫です。前会長の

神戸大学理事木戸良明先生(昭和61年卒)がこの4月より副学長として、同じく神緑会会員である藤澤正人学長(昭和59年卒)を支える重職を担われることから、副会長の中でもっとも長く神緑会活動にかかわってきた私が当会会長をお引き受けすることとなりました。

簡単に自己紹介をさせていただきます。私は大学卒業後ただちに母校の産科婦人科学教室に入局しました。その後、望月真人教授(昭和33年卒)ご指導のもとで学位を取得し、ひきつづき大学で研究、臨床に従事していました。平成7年阪神淡路大震災の年、研究グループのリーダーとして直接ご指導をいただいた森川 肇先生(昭和41年卒)が奈良県立医科大学の教授に就任されたことから、同年7月より奈良に移り、森川教授の下で臨床、研究、教育ならびに学会・医会活動などを行いました。そこでの経験は今私が臨床とともに学会・医会活動に全力で取り組むことができる源泉です。平成15年6月に神戸に帰り、国立病院機構神戸医療センター(当時院長奥村修一先生・昭和44年卒)に短期間お世話になった後、同年10月より丸尾 猛教授(昭和44年卒)のご高配にて神戸大学に復帰しました。丸尾教授ご退任後、新しい主任教授が赴任しましたが、当時の高井義美医学研究科長(昭和49年卒)より地域医療学担当特命教授のポストを与えられ、他の診療科ご出身の先生方とともに神戸大学における地位医療の教育に従事しました。その4年10か月後、平成25年に現職のパルモア病院に院長

として赴任しました。このように私は多くの神緑会諸先輩の先生方の薫陶を受けてきました。

私と神緑会のかかわりは、特命教授に就任後、当時神緑会会長であられた前田 盛先生(昭和45年卒)から神緑会活動の中で、ニュースレターの編集や総会の準備などを中心にお手伝いするよう声をかけていただいたことに始まりました。そのうちに神戸大学全体の「校友会」(各学部単独の同窓会の連合体といえる大学公認組織)の会合にも参加するようになりましたが、これらの活動を通じて痛感したことは、いわゆる「同窓会」活動への会員の求心力はどのようにすれば高まるのか?という問題です。医学部医学科同窓会は、会員のほとんどが医師であるため、卒業後も長く「同窓生」と関わることのメリットが理解されやすく、同窓会の結束力は強いだろうというのが他学部のOB、OGの方々の思いです。しかし、最近の会費納入率の推移をみると、特に若い先生方に対して神緑会の存在意義が十分に伝わってはいないのでは、と思われる状況です。一方、同窓会活動に求められることが年代、居住地、現在の職種などにより大きく変わるのも当然のことです。ただ少なくとも、「わが母校の発展」を否定する人はごく例外的と思います、大多数の神緑会会員が持つことのできる共通の思いを汲み取りながら、会の運営にあたりたいと考えております。

神緑会の先生方におかれましては、母校の繁栄に向けてそれぞれの持ち場でできる限りのご支援を賜りますことをお願い申し上げます。また同時に、母校とともに先生方がなお一層ご発展されるよう、神緑会事業を展開することが私に与えられた使命と認識しております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和3年11月吉日

令和3年6月26日開催の定時社員総会ならびに理事会において役員を選任を行い、それぞれ下記のとおり就任いたしました。



会 長
山崎 峰夫
(昭和56年卒 中央支部)



副会長
宮地 千尋
(昭和54年卒 東灘支部)



副会長
竹山 宜典
(昭和56年卒 大阪支部)



副会長
川合 宏哉
(昭和61年卒 姫路支部)



常務理事
児玉 裕三
(平成6年卒 学内支部)



理 事
大林 良和
(昭和55年卒 灘支部)



理 事
岡村 雅雄
(昭和56年卒 大阪支部)



理 事
黒田 大介
(昭和57年卒 北播支部)



理 事
大西 祥男
(昭和58年卒 加古川支部)



理 事
木戸 良明
(昭和61年卒 学内支部)



理 事
謝 紹東
(昭和61年卒 中央支部)



理 事
藤岡 由夫
(昭和61年卒 西支部)



理 事
中村 誠
(平成元年卒 学内支部)



理 事
秋末 敏宏
(平成4年卒 学内支部)



監 事
前田 盛
(昭和46年卒 中央支部)



監 事
奥町富久丸
(昭和48年卒 大阪支部)

令和3年6月26日 一般社団法人神緑会 定時社員総会報告

令和3年6月26日（土）一般社団法人神緑会定時社員総会を、神戸ポートピアホテルにて対面とウェブを併せたハイブリット形式で開催いたしました。神緑会会長挨拶にはじまり例年通り、事業報告、決算承認、本年は役員選任の年でもありましたので役員選任の決議を行いました。無事滞りなく決議が承認され、田中千賀子賞授与式を対面にて行いました。助成金授与者、栄誉者、新任教授紹介についてお名前のみのご紹介とさせていただきます。

総会ののちに新理事での理事会が開催され、神緑会会長に山崎峰夫新会長が選出されました。

特別講演として、研究科長に就任した南康博研究科長と平田病院長の後任に眞庭謙昌病院長にご講演いただきました。

総 会

定刻より5分遅れ、法人事務局から本日の社員総会は定款第20条に規定する定足数に達している旨の報告に基づき、定款の規定により代表理事木戸良明が議長席につき、本会は適法に成立したので開会する旨を宣した。

議長は、本社員総会においては理事大林良和氏、中村誠氏は、WEB会議システムにより出席している旨を述べた。当法人のWEB会議システムは、出席者の音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認され、議案の審議に入った。

議長は、定款第26条第2項に規定する議事録記名人として、出席者の中から、黒田大介社員、大西祥男社員の2名の指名を行ったうえ、直ちに議事に入った。

議事の経過の要領及びその結果

〔決議事項〕

第1号議案 令和2年度事業報告について

議長の指名により、当法人の副会長竹山宜典から、総会資料「令和2年度一般社団法人神緑会事業報告」に基づき、令和2年度における事業報告について報告と詳細の説明を行ない、議長が承認を求めたところ書面による議決権行使を含め出席者の過半数の賛成をもって原案どおり承認可決された。

第2号議案 令和2年度決算の承認について

議長の指名により、当法人の副会長山崎峰夫から、総会資料「令和2年度一般社団法人神緑会決算報告書」に基づき、「貸借対照表」、「正味財産増減計算書」、「財産目録」に基づいて説明が行われ、議長の指名により、当法人の監事上辻浩夫から「監事監査報告書」に基づき、当法人の業務、財産および損益の状況等について監査を実施した結果、法令および定款に従い適正に処理しているとの報告を行い、議長が承認を求めたところ書面による議決権行使を含め出席者の過半数の賛成をもって原案どおり承認可決された。

第3号議案 一般社団法人神緑会役員選任の決議について

議長の指名により、役員選任に係る選挙管理委員長味木徹夫社員に第3号議案の審議に関する議長を委嘱した。議決に先立ち、味木選挙管理委員長から選挙管理委員会の活動内容及び役員立候補者受付から、理事候補者14名、監事候補者2名が候補者として確定するまでの経緯について報告があった。

ついで、味木選挙管理委員長は、別紙「一般社団法人神緑会役員候補者名簿」に添って、候補者個々に順次選任決議を行った。

味木選挙管理委員長は、理事候補者14名並びに監事候補者2名が出席者の過半数以上の賛同を得て選任されたことを確認し、議長席を退席した。

〔報告事項〕

(1) 令和3年度田中千賀子学術奨励賞並びに助成金授与者について

議長の指名により、当法人の常務理事児玉裕三から、令和3年度田中千賀子学術奨励賞並びに助成金授与者について報告が行われ、木戸会長により、令和3年度田中千賀子学術奨励賞授与者に目録等の伝達を行った。

(2) 新任教授・栄誉者紹介について

議長の指名により、当法人の副会長山崎峰夫から神戸大学長・医学部教授等就任および、神戸大学外病院長・教授・理事就任の紹介が行われ、ついで、議長の指名により、当法人の副会長竹山宜典から叙勲等の栄誉者の紹介が行われた。

(3) 神戸大学楠キャンパス福利厚生施設整備運営事業について

木戸議長から神戸大学楠キャンパス福利厚生施設整備運営事業について報告を行った。

(4) 神緑会事務局移転のご案内について

木戸議長から当法人の事務局の移転先と移転日について報告を行った。

(5) 藤澤正人学長を囲む会について

木戸議長から藤澤正人社員の神戸大学15代学長の就任に伴い、「学長を囲む会」の計画と励ます会の結成について報告を行った。

議長は、以上をもって本日の議事は終了した旨を述べ、午後3時44分閉会を宣し、解散した。

令和3年度 一般社団法人神緑会 田中千賀子学術奨励賞授与者

卒年	氏名	所属	役職	研究業績	
平成15年	西本 華子	神戸大学医学部 附属病院 整形外科	特命助教	[Transcutaneous carbon dioxide application with hydrogel prevents muscle atrophy in a rat sciatic nerve crush model]	30万

令和3年度 一般社団法人神緑会 助成事業

募集対象1

卒年	氏名	所属機関名	事業名	助成額
平成13年	北島 一宏	兵庫医科大学 放射線医学教室	AIを活用したFDG-PET/CTによる悪性胸膜中皮腫の早期診断と予後予測	50万
平成11年	近藤 武史	神戸大学大学院医学研究科 法医学分野	虚血性心疾患法医剖検例の心筋組織におけるペリオスチン発現の検討	50万

募集対象3

特別会員	伊藤 智雄	神戸大学大学院医学研究科 病理学講座病理診断学分野	第10回神戸免疫組織診断セミナー (いむーのセミナー)	25万
------	-------	------------------------------	--------------------------------	-----

新任教授並びに栄誉者一覧

【神戸大学長・医学部教授就任等】

神戸大学長	藤澤 正人	昭和59年
神戸大学 理事 総括副学長	木戸 良明	昭和61年
神戸大学大学院医学研究科長・医学部長	南 康博	特別会員
神戸大学医学部附属病院長	眞庭 謙昌	平成2年
外科系講座脳神経外科学分野 教授	篠山 隆司	平成6年
内科系講座小児科学分野 教授	野津 寛大	平成9年
内科系講座IPS細胞応用医学分野難治性皮膚疾患病態解明学部門 特命教授	錦織千佳子	昭和55年
地域社会医学・健康科学講座バイオリソース研究・開発推進学分野 特命教授	松岡 広	平成2年
地域社会医学・健康科学講座地域医療ネットワーク学分野 特命教授	木戸 正浩	平成6年
外科系講座形成外科学分野足病医学部門 特命教授	辻 依子	平成10年
医学部附属病院小児外科 特命教授	尾藤 祐子	特別会員
医学部附属病院臨床研究推進センター 特命教授	眞田 昌爾	特別会員
外科学講座低侵襲外科学分野 特命教授	柳本 泰明	特別会員

【神戸大学外病院長・教授・理事就任等】

旭川医科大学病院 病院長	古川 博之	昭和55年
神戸労災病院 院長	脇田 昇	昭和55年
兵庫県立こども病院 院長	飯島 一誠	昭和57年
兵庫県立淡路医療センター 院長	鈴木 康之	昭和58年
兵庫県立丹波医療センター 院長	西崎 朗	昭和58年
関西医療大学 保健医療学部 教授	河本 純子	昭和55年
兵庫県立大学 環境人間学部 食環境栄養課程 教授	吉田 優	平成4年
日本医師会 理事	樽木 等	昭和53年
日本医師会 理事	中尾 正俊	昭和54年

【叙 勲 等】

瑞宝双光章 (令和2年)	小原 實	昭和35年
第49回医療功労賞	島田 照三	昭和39年
瑞宝双光章 (令和2年)	神澤 正三	昭和41年
瑞宝小綬章 (令和2年)	田頭政三郎	昭和42年
瑞宝双光章 (令和2年)	福辻 範彦	昭和42年
瑞宝中綬章 (令和3年)	松尾 理	昭和42年
瑞宝中綬章 (令和3年)	山村 博平	昭和42年
瑞宝小綬章 (令和2年)	小澤 修一	昭和46年
瑞宝中綬章 (令和3年)	高井 義美	昭和49年
瑞宝双光章 (令和3年)	山本信一郎	昭和49年
藍綬褒章 (令和2年)	加納 康至	昭和55年
瑞宝双光章 (令和3年)	原 弘	正会員イ

神戸大学楠キャンパス福利厚生施設整備運営事業について



南側交差点からの外観イメージ

神戸大学大学院医学研究科・医学部医学科は、昭和19年設立の兵庫県立医学専門学校を母体して楠キャンパスの地で発展を遂げて、現在は国立大学法人として教育・研究・診療活動を進めております。一方、楠キャンパスは、敷地が狭く国立大学では、東京医科歯科大学の次に敷地が狭く、さらに容積率が300%しかないという状態でありました。この課題は、低侵襲総合診療棟の建設で特に顕著となり、容積率をほぼ使い切り将来の増築が全くできない状態に陥っておりました。

しかし、このたび、神戸大学では、国の補助金に頼らずに民間事業者の資金と経営能力等によって施設を建設し、維持管理及び運営する、いわゆるPPP (Public-Private-Partnership) 事業を導入し、まずは、神緑会館と福利課外活動施設を集約整備し、次の整備地を確保する目的で、「神戸大学楠キャンパス福利厚生施設整備運営事業」を実施する運びとなり、神緑会事務局は8月に仮移転することになりました。

神緑会事務局移転のご案内

仮設建物 1階に移転



仮移転先 神戸大学附属病院敷地内
北側 看護宿舎前 仮設建物 1階
電話：078-361-0616
FAX：078-361-0617



石碑小(1500×1080)神緑会館敷地駐車場に病院への階段が設置される予定、その下のスペースを提案されている

特別講演 I



眞庭 謙昌
(まにわ よしまさ)

平成2年3月 神戸大学医学部 卒業	平成15年6月 神戸大学大学院医学系研究科 循環動態医学講座呼吸循環器外科学助手
平成4年6月 兵庫県立成人病センター レジデント (呼吸器外科)	平成21年4月 神戸大学大学院医学研究科 外科学講座呼吸器外科学分野 講師
平成5年6月 国立療養所兵庫中央病院 レジデント (外科、呼吸器外科)	平成24年12月 神戸大学大学院医学研究科 外科学講座呼吸器外科学分野 教授
平成6年6月 神戸大学医学部附属病院 第2外科医員	平成30年2月 神戸大学医学部附属病院 副病院長
平成13年5月 米国ニューヨーク市、Memorial Sloan-Kettering Cancer Center、分子生物学教室、Research Fellow	令和3年2月 神戸大学医学部附属病院 病院長
	令和3年4月 神戸大学 副学長 兼務

演題「就任の抱負」

2月1日付けで病院長に就任しました眞庭謙昌です。何卒よろしくお願い申し上げます。

現在、世界的にコロナウイルス感染拡大が進行し、医療現場では困難な対応が続いており、本院の状況も例外ではありません。特定機能病院、高度急性期病院としての機能を維持しながら、感染拡大においても地域、周辺病院の要請に対応していく体制の整備が求められ、職員の皆さまにも相当のご負担をおかけしています。まずは平田前病院長が築いてこられた体制と方針をしっかりと引き継いで、病院内の職員がしっかりと情報共有し、このような事態の中でのそれぞれの役割に注力できる環境を維持していきます。今後も「ウィズ・コロナ」という状況が続くことを想定しなければならいと思いますので、それを踏まえた柔軟で、明確な方向性をもった病院運営を進めてまいります。

10月には延期されている病院機能評価が予定されていますし、研究面では4月に臨床研究中核病院の承認を得て、今後はその維持、発展に注力しなければいけません。そのほか、コロナ禍でも示された地域に期待される本院の役割をさらに整えていくためにも、患者支援センターや総合臨床教育センターの更なる充実、救命救急センターの機能強化、IMCCを中心とした国際化の加速、そしてICCRCも含めたりサーチ・ホスピタルとしての研究推進など、高度急性期病院・特定機能病院としての機能の更なる充実も滞ることなく進めていくことも必要です。4月からは本院の藤澤正人教授が神戸大学長に就任され、全学と附属病院の距離が縮まることが期待されますので、これを機会にしっかりと連携して、本院の存在感を示していきたいと考えます。

いずれの取り組みも当病院内での活動だけで満たされるものではありません。幅広い領域でご活躍の神緑会のみなさまのお力添えを是非とも賜りたいと思いますので、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

特別講演Ⅱ



南 康博
(みなみ やすひろ)

最終学歴
東京医科歯科大学医学部（昭和60年卒）
昭和60年4月
明治乳業ヘルスサイエンス研究所 研究員
昭和61年2月
米国国立衛生研究所（NIH）
（Dr.RichardD.Klausner） 研究員
平成2年9月
大阪大学細胞生体工学センター 助手
平成6年2月
医学博士（大阪大学）
平成7年3月
神戸大学医学部生化学第一講座 助教授
平成11年11月
神戸大学医学部医動物学講座 教授
平成13年4月
神戸大学大学院医学系研究科（改組）
ゲノム科学講座 教授
平成20年4月～平成23年3月
神戸大学大学院医学研究科（改組）
細胞生理学分野教授
神戸大学大学院 医学研究科 副研究科
長・副医学部長

平成21年4月～平成23年3月
神戸大学医学部医学科 医学科長
平成25年5月～令和3年3月
神戸大学大学院医学研究科 副研究科長・
副医学部長
平成28年4月～
シグナル伝達医学研究展開センターセン
ター長、神戸大学先端融合研究環研究プロ
ジェクト・リーダー
平成31年4月～令和3年3月
神戸大学 評議員
平成31年4月～
神戸薬科大学 客員教授
令和3年4月～
神戸大学大学院医学研究科長・医学部長・
医学域長

演題「神戸大学医学研究科・医学部の現状と今後の展望」

令和元年に神戸大学医学部医学科創立75周年・神戸病院創立150周年記念を迎えました。

その後、昨年初頭からのCOVID19のパンデミックとともに、ウィズコロナの時代となり、我々の日常生活や医学・医療を取り巻く様相は大きな変容をもとめられました。そのような中、本年（令和3年）には前医学研究科長・医学部長 藤澤先生が神戸大学 学長に就任され、明確なビジョンとリーダーシップのもと、“異分野共創研究教育グローバル拠点”を目指す 神戸大学の新たな舵取りがはじまり、神緑会会長 木戸先生も理事、総括副学長として手腕をふるわれております。今回の講演では、ここ数年間における神戸大学医学部・医学研究科における教育・研究・診療などへの新たな取り組みの概要をご報告させていただくとともに、ウィズ・アフターコロナの時代での医学・医療におけるレジリエントな教育・研究・診療を目指した取り組みを紹介させていただきます。また、最後に、楠キャンパスにおける建て替えを含めた将来計画配置の第1ステージについてお話しさせていただきます。



令和3年度 田中千賀子学術奨励賞

受賞に寄せて



神戸大学医学部附属病院整形外科
特命助教 **西本 華子** (平成15年卒)

この度は令和3年度田中千賀子学術奨励賞に選定いただき誠にありがとうございました。私は2003年に本学を卒業

後、神戸大学整形外科学教室に入局し、2013年に神戸大学大学院医学系研究科博士課程を卒業、以降は整形外科医員を経て、2020年4月より整形外科特命助教として勤務しております。受賞の、「Transcutaneous carbon dioxide application with hydrogel prevents muscle atrophy in a rat sciatic nerve crush model」は、炭酸ガス経皮吸収療法を神経原性筋萎縮に試みたものです。

この度の受賞に伴い自らの医師人生を振り返ってターニングポイントとなる出来事を2つ思い出しました。1つ目は、出産後、私はモチベーションを失っており、そのまま医師を辞めようとしていました。しかし、ある時、子供が寝返りの練習を始めました。毎日時間を見つけては、右に寝返り、右に成功したら左に寝返り、寝返りが出来たなと思えば、這おうとしていました。この子は日々進化しようとしている、それに比べて私は、進化しようとしているのだろうか、と子供の成長に感動すると共に、自身の歩みを止めようとしている自分を情けなく思いました。そこから、もう1度立ち上がってみようと、それまで整形外科では誰もいなかった、女性で子持ちの状態での大学院進学を志し入学しました。2つ目は、家庭と仕事の両立に悩んで、先輩からアドバイスを貰った時のことです。「家庭完璧仕事完璧のスーパーウーマンの話を聞いて、誰が自分も頑張ろうって思える？普通の人が普通にやっ

て、ちゃんとやれてるって話をみんな聞きたいし目標にしたいんやで」と言ってくれました。普通でいいんだと目から鱗のアドバイスでした。これらのターニングポイントを経て、私は今、女医として立っていられるんだと思います。

最後に、今回の受賞は、いつも指導して下さる、整形外科黒田良祐教授、美舩泰先生、乾淳幸先生、協力してくれた後輩達、研究室助手さん、理解をしてくれる家族のおかげです。深く感謝をするとともに、これからも尚いっそう研究の道に邁進したいと思います。





令和3年度一般社団法人神緑会 助成事業授与者



北島 一宏 (平成13年卒)

このたびは、令和3年度神緑会研究助成に採択して頂き、誠にありがとうございます。木戸良明会長をはじめ、関係各位に厚く御礼申し上げます。

私は平成13年に神戸大学を卒業後、神戸大学放射線医学分野に入局しました。関連病院で臨床経験を積んだ後に、神戸大学大学院に入学し杉村和朗先生のご指導の下 学位を取得しました。大学院修了後は神戸大学病院勤務をしばらく継続し、現在はお隣の兵庫医科大学放射線教室に勤務しています。専門は画像診断、腫瘍PETで、臨床と研究を続けています。

近年、AIを用いたデータや画像の深層学習deep learningが、医学領域において分類や認識の基準を見つけ出すことに有用として着目されています。放射線診断の領域でも、MRIを用いた脳動脈瘤の検出、レントゲン写真やCTを用いた肺の結節の検出、CTを用い

たCOVID-19肺炎の画像診断、マンモグラフィや超音波を用いた乳癌の検出などで既に有用性が立証され、商品化されています。そこでAIによるdeep learningを最大限活用し FDG-PET/CTが、悪性胸膜中皮腫と胸膜の炎症との鑑別に有用か、長期生存が見込める患者とそうでない患者の選別が可能かなどを検証したいと考えています。

症例の提供は兵庫医科大学の放射線科・呼吸器内科・呼吸器外科、AIの開発と解析は神戸大学の放射線科(村上卓道教授先生、河野淳先生、松尾秀俊先生に大変お世話になります)が行う共同研究です。既に両大学で、倫理審査委員会の承認を得て、また知財帰属についての共同研究の契約も締結しました。

研究費のやりくりで苦勞する中、本研究助成を頂いたことは大変有難いことで、重ねて御礼申し上げます。報いることができるよう、引き続き研究に精進してまいります。

神緑会の諸先生方には、今後ともどうか末永いお力添えを頂きますようよろしくお願い申し上げます。



近藤 武史 (平成11年卒)

この度は、令和3年度一般社団法人神緑会助成金に採択いただき、誠にありがとうございます。関係各位に厚く御礼申し上げます。

本研究では、虚血性心疾患法医剖検例の心筋組織におけるペリオスチン発現を検討します。ペリオスチンは、全身の線維組織に分布し、組織障害、線維化、腫瘍の進展、炎症性疾患、動脈硬化、虚血性

心疾患等、種々の病態に関与しています。胎生期に強く発現され、やがて発現は抑制されますが、病的状態で再度発現が亢進します。成人の心臓ではその発現は殆どありませんが、急性心筋梗塞の急性期に心臓の線維芽細胞に強く発現することが知られており、また心不全状態ではペリオスチン発現が心筋線維化と関連することが報告されています。

法医解剖における内因性急死の約3分の2は循環器系疾患とされ、その中核をなすのは虚血性心疾患です。解剖所見・死亡状況から虚血性心疾患が疑われても、心筋に形態的变化の出ない場合やヘマトキシリンエオジン染色等従来の染色方法で有意な所見がない場

合の死因診断は困難です。そこで免疫組織化学により追加データを得ることが必須となります。私はこれまでも虚血性心疾患剖検例の心筋において内皮マーカーであるトロンボモジュリンの免疫染色が虚血性心疾患の法医病理学的な補助診断に有用である可能性を示してまいりました。



この度は、令和3年度一般社団法人神緑会助成金に選定いただいたことに、改めて感謝申し上げます。この「いむーのセミナー」は我々が毎年開催しているもの

ので、今年は記念すべき10回目に相当します。病理診断のなかで特に「免疫染色」に焦点を当て、その意義や技術的な内容を選びすぐった講師による講演を行うもので、病理の世界でもかなり有名なセミナーとして成長してきております。本来であれば10周年記念の式典でも開催したいところ、世の中のCOVID-19 pandemicは依然として収まらず、2年連続のオンライン開催となってしまいました。ただ、この会は病理医のみならず標本作成に携わる臨床検査技師にとって

今回のペリオスチンの検討を通して少しでも新知見を得て、日々の解剖診断の精度を上げるべく精進いたします。神緑会の先生方には今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。今回は誠にありがとうございました。

伊藤 智雄 (特別会員)

も非常に重要な槐とみなされており、幸いなことに毎年盛況となっております。一方で、COVID-19もさることながら、様々な不安定要素もあり、収支状況は毎年不安のなか続けております。これまで本セミナーを継続して開催し、神戸大学を「免疫染色技術のメッカ」として有名にできたことは主催者にとって喜び以外で何もなく、これも貴会の助成金の寄与が大であることは疑う余地もなく、心より感謝申し上げます。オンライン開催のおかげで本年は海外からの講演を含めることができ、また、免疫染色に関わるシンポジウムも開催ができます。おそらく例年以上に有用なセミナーを開催できると確信しております。助成をいただいた貴会のお心に背くことなく、さらに有用なセミナーとして発展させ、病理、また神戸大学のためにも貢献してゆく講演会であり続けることを誓います。感謝とともに今後ともご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

神緑会員リレー随筆 ④



石田先生と

皆さま、こんにちは。平成22年卒の堂國久美子です。

武岡先生からリレー随筆のバトンをいただきました。随筆など書いたことがないのでお恥ずかしいのですが、仕事のこ

と、日々のことなどを書かせていただきます。

私は、現在、いくつかの病院で循環器内科の非常勤医師として働いており、外来を中心に、心エコー検査をやりながら心不全の患者さんたちを診ています。困ったときには大学病院や関連病院の先生方にご相談しながらですが、日々臨床に触れることができ、とても面白くやりがいを感じております。特に、週に1～2回行かせていただいている西明石の石田内科循環器科では、毎回面白い症例と出会うことができ非常に良い刺激を受けています。院長の石田義裕先生(昭和61年卒)は、循環器、呼吸器内科の患者さんを幅広く診療されておられ、私はそこで心エコー検査を通していろいろな経験をさせていただいております。また、開業医の先生ならではのプライマリーケアや処方のコツ、患者さんとのコミュニケーション術などを学ばせてもらっております。今年からは週に1回、実家の診療所(加古川市 いのまた循環器科内科)でも外来をするようになり、父(昭和46年卒、猪股 工矣)からも学ぶ機会を得ています。紙カルテに踊る父の悪筆に四苦八苦していますが…。

今でこそ何とか仕事と育児を両立することができておりますが、数年前までは子育てで手一杯でした。医師歴3年目で結婚し、5年目で大学院生になりましたが、その後子供を2人産みましたのでまとまった時間

著者 堂國 久美子 (平成22年卒)

が確保できず、研究が進まず…ついこの間の3月まで7年間も大学院生をしておりました。研究と仕事、子育てと家事…と抱えきれないほどのタスクに追われるばかりで、あまり余裕がありませんでした。当然、自分の将来をゆっくり考える時間もなかったのですが、昨年の春、夫(呼吸器内科医)がコロナの濃厚接触者になり2週間自宅待機になったことで、突然ぽっかりと時間ができました。その頃は今のようにPCR検査が簡単にはできない時でしたので、無症状でピンチンしている夫がコロナ陽性なのか陰性なのか分からず、また当時、夫婦ともども大学院生のバイト生活だったので一気に収入が減り、どうなることやらと気を揉みました。しかし、どうせ自宅にいるのなら…と、夫が料理と家事を担当してくれるようになり自由な時間が手に入ったのです。「あれ?これはチャンスかもしれない」と、その2週間を有効利用して、時間がなくあきらめかけていた超音波専門医試験へのレポート作成、出願ができました。「災い転じて福となす」とはこのことだな…と思うと同時に、育児のことに気を取られすぎるあまり、小さく、無難にまとまろうとしていた自分に気付かされました。どんな時も実は、望みさえすれば自分の可能性を広げ成長していくことはできるのでは…と考えが変わり、これからはなるべく顔を上げてチャンスを見落とさないようにしようと思った経験でした。

今年で長男は6歳、次男は3歳と大きくなり、お陰様で体調を崩すことも少なく育児と仕事との両立が随分やりやすくなりました。最近、やりたかったけれどもできないと諦めていた専門医を取得したり、新しい情報に触れられるようWebセミナーに参加したりしています。COVID-19で、若い世代の方が亡くなることもある昨今、大袈裟ですが「明日死んでも後悔しない生き方」をしようと模索中です。

ところで、昨年の3月に自宅待機の憂き目にあった夫は、その直後から県立淡路医療センターで働いてお

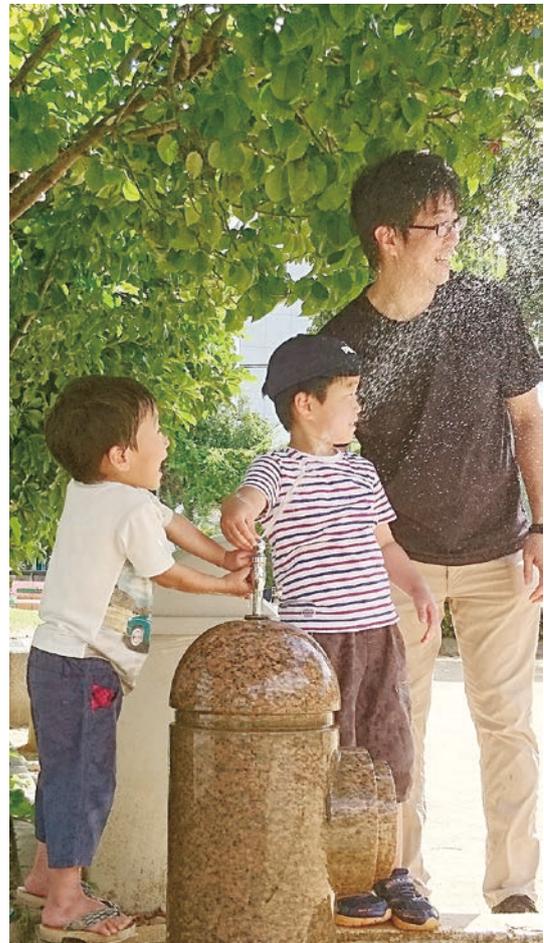
ります。超急性期病院ですので忙しいのですが、結構な子煩悩で、家にいるときにはまあまあいクメンぶりを発揮してくれています。朝6時半に子供たちを保育園横の公園へ連れていき、ひとしきり遊び、7時ちょうどに保育園へ預けたのちに出勤します。休日も朝から仕事のことが多いので、あまりゆっくりは家で過ごせないのですが、なるべく子供と過ごす時間を取るようになっています。子供たちもお父さんが大好きで、休日に男3人でドライブへ出かけたり、数時間帰ってこないことも（その間、私は惰眠をむさぼります笑）。とはいえ、ステイホームが推奨される時期ですので、やはり家の中でトランプしたり、プラレール

で遊んだりが多いですが。最近、夫が長男にポーカーを教えたところ見事にハマってしまい、家族で暇さえあればやっています。子供ながらに長男は不思議と強く、将来ギャンブラーになってしまったら夫にどう責任を取らせようかと思案中です。聞くとところによると今では保育園でもお友達とやっているみたいです…。

こんな何でもない日常ですが、今を大事に、今手元にあるものを喜び、日々健康に感謝する。そんな風に生きていけたらと感じる今日この頃です。そしてCOVID-19の終息が一日も早いことを祈る毎日です。皆様方も、どうぞ、くれぐれもご自愛くださいませ。



家族写真



休日に公園にて



ポーカー好き長男

信長に反旗を翻した男達

著者 向井 宏 (昭和61年卒)

戦国武将の人気投票をすると、織田信長は常に上位にあがります。それでは、信長とはどういう武将だったのでしょうか。

尾張の小大名織田家に生まれた信長は幼少期はうつけと言われていました。しかし、うつけというよりは行動が特異で、乱暴なところがあったからだと思います。跡取りには母や家臣は礼儀正しく素行の良い弟の信勝を推していたようです。それでも父信秀はその才能を見抜いていたのかどうかはわかりませんが、跡取りに信長を指名しました。

信長は勇敢で積極的に行動します。自由な商業形態の「楽市楽座」を行う。囚習に囚われることなく能力主義に徹し、新参の明智光秀や木下藤吉郎を重要な要職に置く。道路などのインフラ整備を行う。また、一度の成功体験に囚われることなくその時々状況を判断する。これらの才能により天下統一まであと一歩のところまで迫りました。

一方、信長には人に対して強圧的で人の痛みがわからない、神をも恐れなかったところがありました。自分に必要なくなった人には、今まで信長のために働いたとしてもあっさり追放する。延暦寺焼き討ちでは、子供を含め全員の殺害を命じる。京都での普請の際、石仏を壊して利用する。新年の酒宴で、滅した浅井、朝倉の頭蓋骨を加工した金箔の盃を披露する。などの行為が見られました。信長は常人とは違うある種の性質が備わっていたと思えます。

ところで、皆さんは「サイコパス」をご存じですか。私の付焼き刃の知識によれば、サイコパスとは扁桃体とその周辺の大脳皮質との結びつきが弱い人に見られる病態です。扁桃体は不安を司る器官なので、この働きが弱いと、不安、恐怖、内省などの情動が弱くなり、平気で嘘をつく、怖がらない、罰を与えられても動かない、自分のためなら人を傷つけても気にしない。な

どの傾向が強くなります。堂々とした振る舞いや言動のため、人々はそれに引き込まれて彼らを高く評価される場合もあります。動機が不明の殺人犯などは典型例でしょう。しかし、行動にある程度抑制をかけられるサイコパスも存在し、犯罪者までは犯さないようなサイコパスは社会的に成功する人が多いとのこと。私の感じる限りにおいてですが、政治家や評論家などにサイコパスとおぼしき人達があります。彼ら彼女らは世間的には非常に人気が高いです。サイコパスはその性質により文化や文明の発展に寄与していることは確かです。人類の進化にはなくてはならない存在であると思います。

閑話休題、これらの欠点によってかはわかりませんが、飛ぶ鳥を落とす勢いのある信長を裏切った3人の武将について書きたいと思います。

浅井長政：長政は北近江の弱小な大名浅井氏の3代目当主です。長政の頃には領地も拡大していましたが、強豪の六角氏と緊張関係にあり、越前の朝倉氏と協力して均衡を保っていました。そこへ斎藤氏と膠着状態にあった信長がそれを打破する目的で、長政に同盟を持ちかけ、妹のお市と婚姻関係を結びます。これで両者の関係は強固のものとなったと思われました。しかし、信長が長政に約束していた「朝倉との不戦の誓い」を破り、朝倉討伐に動いた時に転機が訪れます。苦悩したと思いますが、最終的には長年同盟関係にあった朝倉に対する義を貫いたもの思われます。それ以外に理由があるとすれば、信長との交流しているうちに信長を危険な人物と思うようになり、このまま信長が天下を取ってしまったのではとの恐れが浮かんでいたのではないかと思います。果たして裏切った長政は、「金ヶ崎の退き口」で知られるように、信長をあと一歩のところまで追い詰めました。その後、体勢を整えた信長に姉川の戦い、小谷城の戦い敗れ自害しまし

た。28年という短い生涯でした。

裏切り裏切られるのが当たり前の戦国時代でした。長政は最終的には信長を裏切ったことになりませんが、そうしなければ逆に朝倉を裏切ることになります。私は長政を義の人として評価したいと思います。

荒木村重：摂津の国池田氏の家臣であった荒木村重ですが、調略により池田氏を追い落とし、三好氏の傘下には入りました。その後信長に気に入られ家臣となった村重は、池田氏が信長に下ったため、逆に池田氏を従えることとなりました。伊丹氏を攻め滅ぼした村重は、伊丹城を惣構の壮大な城に改修し、有岡城と改名しそこを本拠地にしました。村重はその後も、信長の命により武功を立てました。しかし、村重は突然信長に反旗を翻しました。一時は使者に説得され信長のもとに釈明に向かおうとした時、家臣の中川清秀に諭され、有岡城に戻りました。再び使者として説得に来た黒田官兵衛を監禁したのは有名な話です。有岡城に籠城した村重は1年以上戦います。しかし、家臣の中川清秀や高山右近が織田方につき、毛利からも援軍が来ない中、兵糧が尽きかけた時、突然家族や家臣を城に残し単身有岡城を脱出しました。そして、逃げのび天寿を全うしました。

この男ほど武士の風上に置けない男はいないのではないかと思います。あまりにも自分本位で、家族や家臣を犠牲にしてまで自分が助かる道を選びました。また、なぜ信長を裏切ったかも明確ではありません。全くもって食えない男です。その男が最終的には命を落とさずに天寿を全うしたということは、世の不条理というほかありません。

明智光秀：明智は美濃土岐氏の家臣でした。光秀は土岐氏を追い出した斎藤道三に仕えます。文武に優れた光秀は道三に取り入れられました。しかし、道三とその息子義龍との戦いで道三方につき、道三が敗れた為、越前の朝倉氏の元に落ち延びました。越前でのおよそ10年間の生活は非常に厳しいものでした。転機が訪れたのは、將軍の足利義昭を京に上洛させようと、細川藤孝が朝倉を頼って越前に入ったことでした。足利再興という共通の目標を持った光秀と藤孝は互いに連携していくことになりました。その後、義昭の上洛を信長に委ねたことにより、光秀も藤孝も信長の家臣に

なりました。その後、光秀は新参者であるにもかかわらず、信長家臣の中で初めての城持ちになるなど、重用されるようになりました。

それではなぜ、光秀は謀反を起こしたのか。これには色々の説がありますが、確たるものはありません。この頃の信長は足利將軍には目もかけず、そればかりか自分を神格化し、天皇をも見下すような態度に出ていました。この暴君を討つためとの説が有力ですが、それだけの理由では弱いと思います。光秀が任された家康接待の際、信長に料理に対す非難を公衆の面前で行われ足蹴された。信長の命で長宗我部と苦勞の末、光秀は協定を結びましたが、その直後に、信長は長宗我部討伐の方針転換を出す。まさに信長の気分次第の我儘に翻弄されることになりました。こんな上司の元ではやってられないとの思いもあったと思います。また、これらの信長の言動から、今度は自分も追放されるのではないかと危機感を覚えたかも知れません。暴君討伐に加えて、強い危機意識が光秀に謀反を起こさせたのではないかと考えます。恐怖から起こった謀反をであったからこそ、本能寺の変は刹那的なものだったのだと思います。冷静沈着用意周到に行動してきた光秀が、本能寺の変ではビジョンや根回しもなく行われたことから推測されます。

戦国時代、今川や武田、上杉、北条などの有力武将は領土拡張を行っていましたが、天下統一を目指していたのは信長だけでした。天下統一はその後を秀吉と家康が引き継ぐことになります。信長は日本の歴史を変えた最重要人物のうちの一人です。そんな中、歴史的には重要ではなくても、悩み、苦しみ、恐れ、義に生きた光秀や長政に心を奪われるのは私だけでしょうか。最近、私は城・城跡探訪を行っています。光秀の坂本城跡と長政の小谷城跡も訪れました。そこは城の形すら残っておらず、石垣の残骸が僅かに残っている程度でした。にも関わらず深い感慨を覚えました。ということで、私の好きな戦国武将は光秀と長政ということになろうかと思っています。

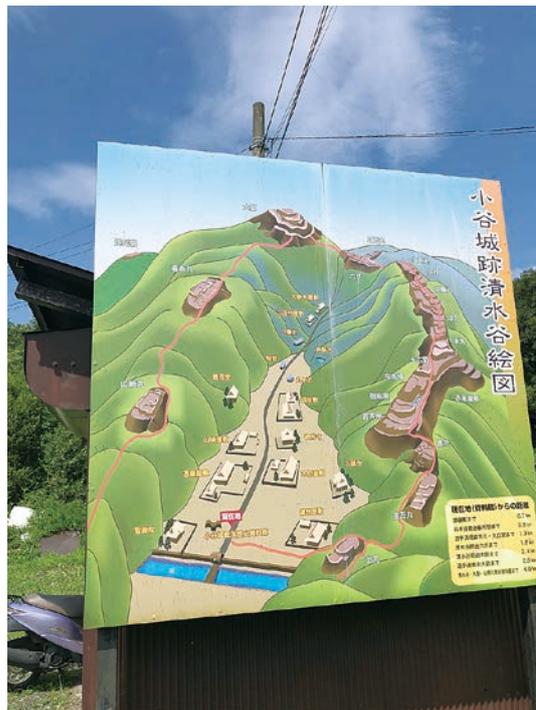
ここに述べた歴史上の事柄は、私が小説などで得た知識である為、多分に間違いがあるかと思っています。ご

容赦願います。

関連する城跡の写真



安土城跡：焼失した信長の城。石垣のみが残っている。天守台跡まで登るのにはかなりの体力を要する。



小谷城絵図：浅井氏の拠点の山城。長政はここで自害する。登ってみたが、城の痕跡が僅かに残っている程度であった。城址まではかなり険しい山道でした。



有岡城跡：残っているのはこのような痕跡のみ。近くには大きなイオンモールがある。その西側が広大な有岡城であったとのことである。

明治2年神戸病院建設を起点とした歴史探訪の最後として

神縁会顧問、監事 **前田 盛** (昭和46年卒)

1. 初めに

神戸大学医学部の歴史は、明治2年の神戸病院の建設から始まり、医学校併設を経て明治21年に廃校となり、神戸病院のみが存続した。明治15年から21年に医学校長であった神田知二郎先生が、功績を称えた巨大な石碑が現医学部の東隣の廣厳寺、通称楠寺に建立され、その石碑は、神戸大学医学部50周年記念事業で建設された神縁会館（同窓会館）に平成13年に移設された。40周年記念事業時から楠寺側から、神戸大学医学部管理が望ましとの申し入れがあったとされていたが、50周年記念事業に持ち越された。他には、兵庫県庁に保管されていた「購金録」（病院建設の費用を広く集めた記録、明治元年）や明治2年の病院建設を裏付ける開港30年史（神戸市刊行）¹⁾ が貴重な資料であった。

2. 神田知二郎石碑の学内移設と神戸医学校学籍簿、「嗚呼（ああ）恩師神田知二郎先生」²⁾の入手

平成13年に完成した（阪神淡路大震災のため、約5年遅れ）神縁会館（同窓会館）に神田知二郎石碑を移設したことにより、平成15、16年に神田家ゆかりの方々が医学部を訪問された。

「命日である3月28日に楠寺にお参りしていたが、副住職に石碑が神戸大学に移設されたことを聞き、訪問しました。一等地に移していただいで感謝している」とのことであった。菅 キ工さんの母が神田家兄のお子さんで、子供がいなかった神田先生の養女となった。神田家の長男の死後、夫人より菅 キ工氏と息子の菅 達夫氏に神田先生ゆかりの書類等は引き継がれ

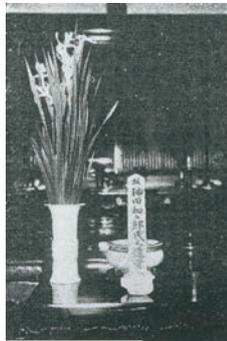


写真1 左：改修中ノ御遺骨奉祀 右：移轉改修除幕式

たので、「医学部に引き継ぎたい」として2年連続の訪問となった。神戸医学校時代の学籍原簿³⁾、長澤巨氏の書かれた「ああ、恩師神田知二郎先生」（昭和12年7月26日記す）等の書類が入手され、神戸大学図書館文書館に相談のうえ、同館に保存に至った。

2-1. 神田氏石碑移転改修の次第（「ああ恩師神田知二郎先生」より抜粋）

昭和12年5月18日楠寺総代山田平三郎氏来訪せられ、神田先生記念碑の移転改修を請求せらる、その理由は本碑の基礎薄弱の為か先年傾斜して、寺方より多大の費用をもって修理されしが、再び少し傾斜するに至った。この度、宝物殿を建設するにつき移転改修を要する事となりしも、建設当時の書類もなく、市内開業諸氏の寄付を募って費用に充てる計画であったが、ふと小生が非常に縁故のある者であると聞き伝え相談に来られた。自身の独断で引き受けるも僭越に思ったので、2、3の先輩に聞き合せた処矢張り建設当時の模様明細ならざるに依り諸氏の承諾を得て、報恩の為万事引受けた。

本碑移転の総ての雑事に就いては、住職千葉氏信徒

総代山田氏のご親切なる御努力御指導を煩し、地を掘り松杭を多数打ち込み、その上に基礎石を置き本碑を建設す。本碑中に在りし御遺齒は、工事中本堂にお祀りせしも是を更に土瓶に納め、基礎の混凝土中に手厚く葬れり。(嗚呼神田知二郎先生16pより)

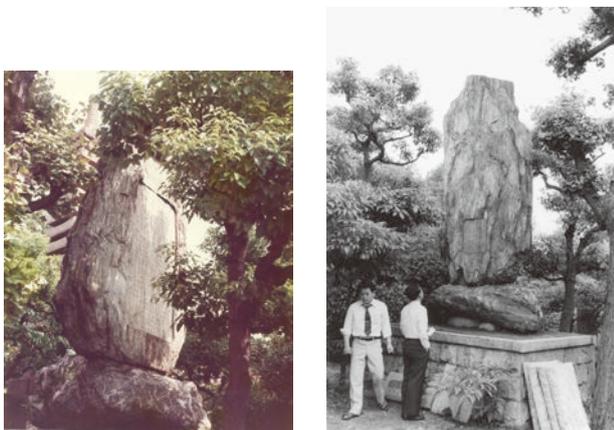


写真2 神田知二郎石碑 移転修復後
(2-1 カラー、2-2 白黒、裏面に改修時の長澤氏の功績記す)

3. 「八十八歳夢物語」⁴⁾、家系図の入手と困難な時代を超えて (太平洋戦争)

本年8月、予期せず吉田 浩、直生(すなお)親子の訪問にて、長い歴史の空白に整理がついた。「八十八歳夢物語」の存在は、知っていたが、吉田氏から今回、提供を受け、改めて以下、抜粋

長澤 亘先生は、慶応2年(1866年)姫路で出生、薬剤師を目指して姫路病院の薬局調剤見習いとなる。当時の公立姫路病院院長の神田知二郎が明治15年公立神戸病院病院長・医学校長に転任するとその後を追って神戸病院の薬局調剤生となる。神戸医学校の入学を目指し、受験勉強に励んだ。当時、県財政のひっ



写真3 長澤小児科病院 (看護協会の場所、兵庫県公館の西)

迫のため、公費生削減の中、明治17年合格者60名の第6番目、最後の枠で公費入学を許された。明治21年、丁度医学校廃校の年に卒業し、神戸病院臨時雇医院に採用された。翌年に生涯の師と定めていた神田知二郎先生の死に直面、一念発起して神田知二郎の母校の東大医学部小児科撰科に明治24年入学した。6年後の明治30年に神戸に戻り念願の小児科医院を開業した。更に明治40年小児科病院を生田区下山手通5丁目21番地、兵庫県庁近くに建設した(写真3)。なお、明治36年に日本小児科学会兵庫県地方会を全国4番目の速さで立ち上げた。平井毓太郎京都大学小児科教授を招いての抄読会も昭和3年、開始、継続した。⁵⁾

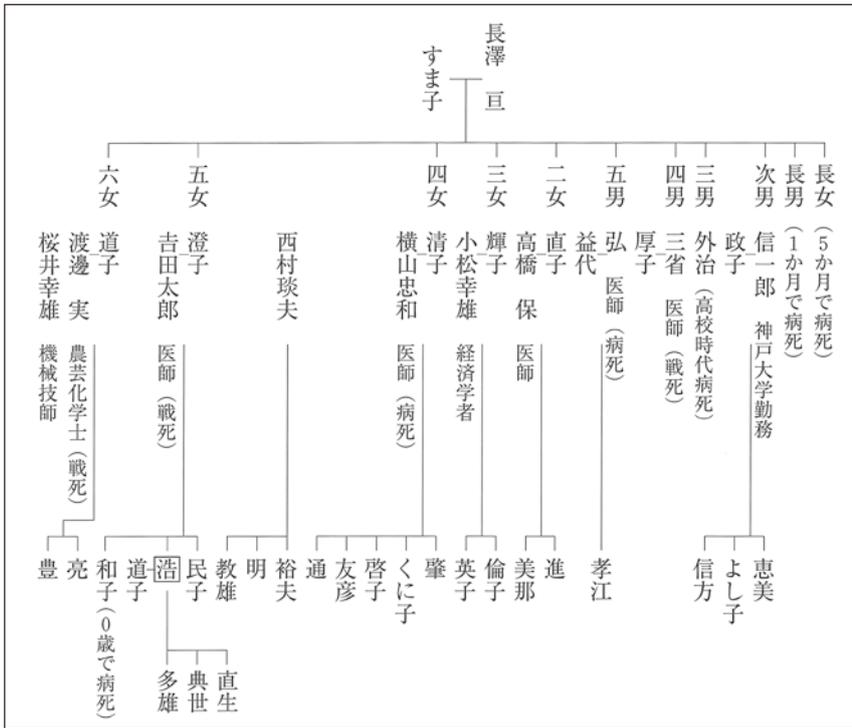
3-1. 子女の事 (八十八歳夢物語、60～61p) 家系図(25p)参照

妻は12人、男6人女6人を出産し、長女は5ヶ月急性化膿性髄膜炎にて5日の経過にて死亡せり。痛ましいながら解剖を為し其の病状を東大小児科広田先生在職15年記念号の小児科雑誌に報告しその道の為とした。長男は生活力薄弱で肺炎のため1ヶ月にて死亡す。二男信一郎只一人目下生存、三男外治は姫路高等学校結核性腹膜炎にて死亡、四男三省戦死、五男弘を喉頭結核にて死なせ、其の他五人の女子は幼少より健全にしてかって病床に就きしことなし。誠に不思議である。中略

二女直子は医学博士高橋保氏に、三女輝子は経済学博士小松幸雄氏に、四女清子は医学博士横山忠知氏に、五女澄子は医学士吉田太郎氏に、六女道子は農芸化学士渡邊実氏に嫁す。然るに吉田・渡邊両氏は戦死、横山氏は病死す。以上の如く戦死病死にて不幸の境遇に出合い五人の未亡人が出来た。しかもそれが殆ど同時で1、2年間の事である。中略

人の一生ほど浮沈の多きものは無い。悲必ず悲ならず。喜必ず喜ならず。今は苦難の境遇にあれども17人の孫のうち、一人ぐらいは必ず出色の者あらんかと自分は信ず。自分は必ずしも富貴を願うものではない。万物の長である人間の最高の道徳を知る人物である自分は之れを信じ、且つ天に祈る者である。

世の中は如何に乱れるも吾が心正しく持た
ん神に祈りて



長澤家（母方）家系図

家系図は、吉田設計事務所50周年発行に
あたり、吉田 浩、直生 親子により比較的
最近に作成された

3-2. 病院及び住宅の戦災及び其の後の状況

(八十八歳夢物語49p～50p)

昭和20年3月17日午前二時半空襲警報あり、直ちに飛び起き支度を為し第一に入院患者に看護婦その他を付き添へ諏訪山方面に避難せしめた、残るは老小使い2名看護婦一名の少数にて初め数か所の焼夷弾は消せども何分暗の中何事も出来ず、自分は唯独り電車筋に立ち病院の最後を見守りたり、初め西方摂津病院が燃え上がり、次いで南の木炭店、次は東方宝屋菊水楼が炎上し、病院は一時は残るので無いかと思いたるも、何分後より後よりと続く編隊による3、4回の来襲で落下する焼夷弾は火の雨の如く、敵機は此の猛火焰中より吾が頭上を悠々と北西に退去す。

自分は、最早是迄なりとその最後を見届け五十年の苦心も此れにて水泡に帰したりと諦めたり。6月5日原田の本宅及び所所の貸家は猛爆に遭い悉く全焼せり。

4. 経過と混乱の整理

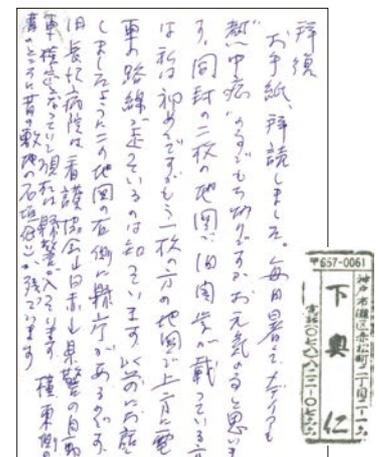
長澤家関連の整理について、寺島俊雄前神経発生学

教授は、次男信一郎氏が画家の道をあきらめて、神戸大学図書館に勤務されていたことを突き止め、芦屋市の自宅近くの探索を行い、実を結ばず、記録に残していた（平成26年⁶⁾。

「平井の梅」の石碑が寺島先生や小児科関係者の間で問題となり、平成28年10月29日に神緑会館内に移設された。信一郎氏の長男 信方氏が東大教授であり、少なからずの交流が生まれたが、6年前の谷川氏神戸大学医学部昭和61年卒、谷川武 順天堂大公衆衛生学教授の東京電力の産業医としての経験を説明した際に、「平井の梅」の知見を話したことによる事を私信にて確認した。⁷⁾

更に、神戸市のご真ん中の存在に

も問わず、詳細は我々の記憶から消え去った状態でしたが、その発掘は、最後の喜びであった。長澤小児病院は、昭和20年3月17日の空襲で跡形もなくなり、その他の消息は分からないものとして扱われてきました。神戸医科大学昭和29年卒業の故下奥先生（兵庫医大眼科学教授、神緑会理事、顧問歴任、医学部50周年記念事業後援会会長）は、常に気にかけておられたが、空襲で焼失し、その後の消息は分からない」と説明されていた。平成30年の西村氏（4女 清子様の子息）の訪問後にお見せいただいた2枚の地図をお送りし、「旧関学が載っている方は初めてですが、もう一枚の方の地図で上方に電車の路線が走っているのは知っています。「旧長澤病院は看護協会→神戸日赤也→県警の自動車検定場となっている。横東側の溝のところに昔の敷地の低い石垣が残っています」とのハ



ハガキ 下奥 仁（昭和29年卒、故人）

ガキをいただきました。

私の私的な疑問、例えば、次女直子様の嫁ぎ先の高橋医師の西脇での開業後、お孫さんが医師になっておられる事など、少し個人的内容まで了解をいただいでますが、確認しました。

最後に、「平井の梅の」石碑問題は全て解決したと思っておりましたが、楠寺で「石碑が行方不明」と最初に声を上げた堀口先生らは、2006年の段階で石碑の下の段が消えた、片隅に打ち捨てられてあったとの記述がある。



写真4 楠寺に於て平井先生記念碑結成式（昭和25年1月14日）「平井の梅」と読める部分の石碑のみ残り、下段のやや白い部分は失われている

楠寺側の説明に、「阪神淡路大震災の後の整理に高額のコストが必要だった」とあり、納得頂けるでしょうか？⁸⁾

5. 終わりに、感謝の言葉

長澤巨先生直筆の2冊の本は、内容も豊富で、読む者の心を打つ。苦勞や努力を全く見せないのも特徴かと思えます。2度（2003～4年と今回）の大量の情報提供にあずかったのは、望外の喜びで、勝手な表現ですがこれほどの大事件の後には、これぐらいの時間を要するものとする事にします。それでも、吉田浩、直生親子には、心からのお礼を申し述べます。一目でわかる家系図の存在は、困難な時代を生きられたご苦勞を、瞬時に読者に理解させる事ができます。感謝に堪えません。また、踏み入れられたくないような個人レベルも知ろうとしたようにも思いますが、寛容に受け入れていただき、大変ありがとうございました。

挿入写真等

写真1. 神田氏50周年記念行事 除幕式

写真2. 神田知二郎石碑 移転修復後（2-1. カラー、2-2. 白黒、裏面に改修時の長澤氏の功績記す）

写真3. 長澤小児科病院（看護協会の場所、兵庫県公館の西）

図 家系図（長澤家）

戦争の影響をまともに受けた家系図

ハガキ 下奥 仁（神戸医科大昭和29年卒、故人）

写真4. 平井の梅original

八十八夢物語 写真20

参考事項・文献等

- 1) 開港30年史から100年史 各年代の号、神緑会館建て替えて、倉庫に眠る
- 2) 記念文集「嗚呼恩師神田知二郎先生」昭和12年（1937年）7月6日発行、後ろ付けに非売品、発行元長澤小児病院、著者 長澤巨
- 3) 学籍原簿 学生毎に一枚の用紙、神戸大学付属図書館文書資料室所蔵
- 4) 長澤巨著「八十八歳夢物語」発行者 長和会、昭和29年2月23日 本人直筆の長年の記録を本人了解の上に発行、神戸大学社会科学系図書館蔵書
- 5) 中村肇 名誉教授特別講演、「平井の梅」、神戸における小児医療の生い立ちを訪ねて 神緑会ニュースレター 第7巻第3号 10～12p 2015年12月11日発行
- 6) 寺島俊雄 神戸街角の解剖学 寺島俊雄教授定年退職記念誌発行会 第13章長澤巨 平井毓太郎「平井乃梅」の今 67～70p 2016年6月15日発行
- 7) 私信 前田盛一谷川 武 2021年10月1日
- 8) 堀口俊一、西尾久秀、林千代、労働科学、82巻 2号 70～76p 2006

祖父 長澤 亘を偲んで

外孫（5女澄子の長男） 吉田 浩

私の記憶では、太平洋戦争で神戸の街も爆撃が激しくなってきた、終戦を迎える頃、住んでいた生田区（今の中央区）中山手通が爆撃されるとのことで、塩屋のジェームス山に在った、祖父の別荘に祖父の家族、私の家族や、他2所帯が疎開して住んでいました。

原田の森に在った自宅も、県庁前に在った病院も焼かれ、焼け跡を眺めて、途方に暮れていた祖父の様子を見た母から、病院や家が焼かれ、何もかも無くなったことを聞きました。

又5男6女の子供たちの多くを戦争で亡くし、戦争の無意味さ、惨さを身に染みて感じたのではないのでしょうか。

戦後しばらくは塩屋に住み開業医もしていましたが、数年して灘区の前田の森に自宅を再建し元の場所に住むようになりました。

私と祖父とのかかわりは塩屋の疎開時代で私が幼児～小学校の低学年の頃でした。庭には柿の木や、池や田んぼや井戸もあり、畑仕事をしたり大根を漬けたり、白衣で患者さんを診察する姿も思い浮かびます。

一番の記憶は祖父の大事にしていた、池に張り出た木に登り遊んでいると、突如折れてしまい母親から、今晚祖父が帰ったら謝りに行きなさいと叱られ、祖父が帰ったのを見計らい、母と謝りに行ったのですが、普段厳格な祖父でしたので、こわごわ謝りに行ったことを覚えています。その時心配してくれたのか、怒られたのか何の記憶もなく、孫に甘かったのか、あまり私には反省の態度がなかったのではないかと思います。

吉田の家系も祖父が外国航路の船医で、父も日赤病院の外科医でしたので（昭和20年北支で戦死）、周りの人は医学の道に進んだらと言われましたが、自分の血を見るだけで気分が悪くなるし、頭もついて行かなかったため、色々考えた末に建築の道に進みました。現在建築設計の道で、創業51年になります。

祖父「88才夢物語」の著書の中で「今苦難の境遇に

あれども17人の孫の内、1人位は必ず出色の者あらんかと自分は信ずる、自分は必ずしも富貴を願うものではない、萬物の長である人間の最高の徳を知る人物である自分は之を信じ、且つ天に禱る者である。」と記しています。我々孫達は祖父の思いを受け継ぎ、祖父の名を汚さないように、それぞれの道で人のため社会のために、役立つ生き方をしていきたいと思えます。

最後になりましたが、神緑会監事の前田先生とのお出合いのきっかけを書かせていただきます。私の息子が昨年九月にアナフィラキシーを発症し原因を知るため、三菱神戸病院から神戸大学医学部付属病院を紹介されました。

皮膚科の福永先生の診察を受け、（小麦依存症運動誘発アナフィラキシー）であることが判明しました。今年3月に入院し、小麦アレルギーについて詳細な検査と他のアレルギーを調べることが出来ました。7月入院中の担当医の織田先生に経過観察をして頂いたときに、息子が私から聞いていた曾祖父の長澤亘の石碑についてお聞きしたところ、神緑会を紹介していただき、後日私も息子と神緑会館を訪問させていただき、前田先生にもお会いし、祖父の関係する石碑や写真や文献などを見せていただき、非常によく調べられて、身内の私が知らないことを沢山教えていただき、祖父亘の有りし日を偲ぶことが出来、これも祖父亘のおかげで前田先生にもお出合い出来る機会を作ってくれたような気がします。本当に有難うございました。

神緑会の益々の発展をお祈り申し上げます。

令和3年10月13日



株式会社吉田設計事務所
創業50周年 表紙

CiRA便り

京都大学iPS細胞研究所 基金事務局 上野山直子

神緑会の皆様、平素は京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) にご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。
今号では、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の患者さんを対象とした第一相試験の結果のご報告及び新型コロナウイルスワクチン効果の年齢差・個体差の実態とメカニズムの解析の臨床研究開始について紹介いたします。

一部の患者さんで筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の進行停止を確認

CiRAの井上治久教授らの研究チームは、徳島大学病院、京都大学医学部附属病院、北里大学病院、鳥取大学医学部の研究チームと、「筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者さんを対象としたボスチニブ第1相試験」を実施していましたが、このほどその結果を公表しました。

ALSは、運動神経細胞が変性して筋萎縮と筋力低下を来す進行性の疾患で、経過に個人差はあるものの、人工呼吸器を使用しなければ、発症から数年で落命される疾患です。ALSの進行を緩和する既存薬はありますが、いまだ進行を停止する根本的治療は確立されていません。

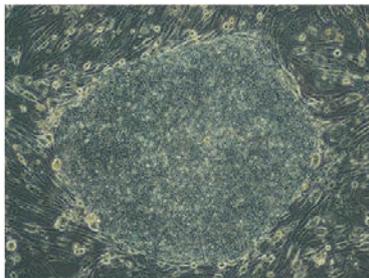
井上教授の研究チームは、これまでにALS患者さん由来のiPS細胞から作製した運動神経細胞を用いて、ALSの病態を再現し、さらに、運動神経細胞の細胞死と異常タンパク質の蓄積を抑えることができる化合物のスクリーニングシステムを構築しました。

2017年には、このシステムを用いて、既存薬のさまざまな種類の化合物をスクリーニングした結果、慢性骨髄性白血病の治療薬であるボスチニブが強い抗

ALS病態効果を有することを見出しました。ただ、ボスチニブは、ALSを適応症として日本及び世界各国で承認されておらず、ALSの治療薬として使用できる状況にありません。

ボスチニブの安全性と忍容性を評価し、探索的に有効性評価を行うために、2019年より医師主導治験が開始されました。研究チームは、この治験に参加されたALS患者さんにおいて、ボスチニブにALS特有の有害事象は認めなかったこと、ボスチニブの投与期間に一部の患者さんでALSの進行の停止が見られたこと、その目印となる可能性のある指標があったことを見出し、それらを本年10月に発表しました。ただし、この治験の被験者の人数が少数であるため、更なる検討が必要であると考えられます。

今後、iPS創薬から展開した本臨床試験の結果に基づいて、多くのALS患者さんを対象としてボスチニブの有効性を調べるために、十分な安全性を考慮した上で、次相以降の試験を計画しています。井上教授の研究チームは、AIを用いた疾患予測技術と合わせてALSの制圧を目指したいと考えています。



筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者さんからの iPS 細胞

新型コロナウイルスワクチン効果の年齢差・個体差の実態とメカニズムの解析

CiRAの濱崎洋子教授らの研究グループは、京都大学医学部附属病院とともに、「ヒト免疫担当細胞の加齢変化に関する研究—新型コロナウイルスワクチン効果の年齢差・個体差の実態とメカニズムの解析—」の臨床研究を開始しました。

わが国における新型コロナウイルス感染による死者数累計は約17,783人（2021年10月5日時点；参考文献参照）にのぼり、大きな社会問題となっています。特に、上記の死者数に占める割合は、70代が22.7%、80代が57.6%と高齢者に高く、その原因の究明と対策は急務です。

新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されていますが、一般的に、免疫力やワクチン効果は加齢に伴い低下することが知られて

います。

この研究では、新型コロナワクチンの接種の効果が高齢者でどの程度持続し、高齢者の免疫細胞がワクチンにどのように応答するのか、一般成人と比較しながら検証します。

本研究は、新型コロナウイルスに対するワクチンの免疫応答性を調査する公衆衛生上の重要課題です。また得られる成果は、ハイリスクの高齢者に適したワクチンスケジュールの立案や、ワクチン効果の予測や効果の年齢差・個体差を解消するための新たな方法の開発に役立つ可能性があります。

参考文献：厚生労働省HP 新型コロナウイルス感染症の国内発生動向(2021年10月5日)

iPS 細胞研究基金についてのお問い合わせ先

■ 京都大学 iPS 細胞研究所 iPS 細胞研究基金事務局

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 53

TEL：075-366-7152 FAX：075-366-7034

メール：ips-kikin@cira.kyoto-u.ac.jp

資料請求専用フリーダイヤル：0120-80-8748（平日8時半～17時）

■ 京都大学基金ウェブサイト

「京都大学基金」で検索してください。URLは以下の通りです。

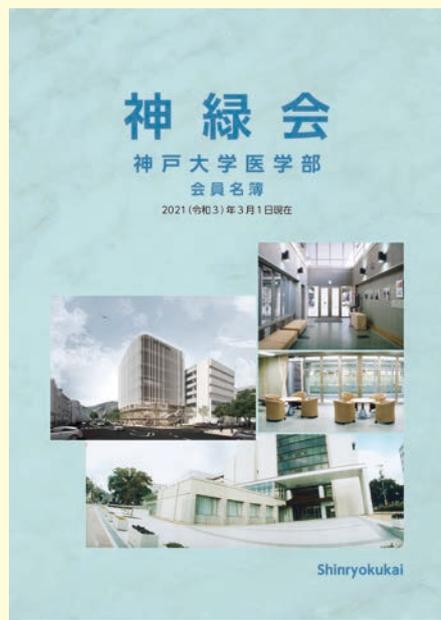
<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/>

2021年版

神緑会 会員名簿が 発行されます

会員相互の親睦にお役立てください

神緑会会員名簿2021年（令和3年）11月1日現在版が12月末に発行されます。ご希望の方は、ニュースレター本号13巻第2号に同封しております振込用紙をご利用の上ご入金下さい。1冊 10,000円（送料込）



一般社団法人 神緑会

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1 TEL 078-361-0616 FAX 078-361-0617 E-mail : sinryoku@med.kobe-u.ac.jp



表紙「Sicily San Domenico Palace Hotel」 野村 耕治（昭和61年卒）

シチリアのタオルミーナにある老舗ホテル
もとは15世紀の修道院 季節の草花であふれた中庭
映画『グラン・ブルー』のロケ地としても有名

編集後記

本文にも記事があるとおり、大学の施設整備の一環として新しい福利厚生施設が建設されるため、神緑会館は本年8月で閉館となり、今は取り壊されています。そして、神緑会館の設備は跡地に建設される新しい福利厚生棟（令和5年6月オープン予定）の4階に移されます。その中のメインホールについ

ては、その場所にかつてあった「神緑会館」の名称を残したいと考え、「神緑会館記念ホール」との仮称を提案しています。これについて、いずれ会員の先生方に改めて賛否を伺いますが、現時点で他によい名称のご提案があれば事務局にお知らせいただければ幸いです。（広報委員会）

神緑会
ニュースレター
第13巻第2号

発行

一般社団法人神緑会 会長 山崎 峰夫
〒650-0017
神戸市中央区楠町7丁目5-1 神戸大学医学部内
TEL 078-361-0616 FAX 078-361-0617
sinryoku@med.kobe-u.ac.jp

印刷

小野高速印刷株式会社
〒670-0933 姫路市平野町62番地
TEL 079-281-0008 FAX 079-223-3523
URL:https://www.ohp.co.jp/
http://www.dousou.info/

Sicily 1



Sicily 2



掲載記事についてお詫びと訂正

■神緑会ニュースレター第12巻第3号 39頁
神緑会ニュースレター第12巻第3号 39頁「神戸大学医学部医学科の歴史の継承」に記載させていただいた記事に誤りがありました。
訂正してお詫び申し上げます。

【誤】 A. Bedder 【正】 A. Vedder 【誤】 寺島俊男 【正】 寺島俊雄

■神緑会ニュースレター第13巻第1号 19頁
神緑会ニュースレター第13巻第1号 19頁「神戸大学医学部 部活紹介リレー」に記載させていただいた記事に誤りがありました。
訂正してお詫び申し上げます。

【誤】 米山美唯 【正】 米山未唯

